




就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	谷在家福祉作業所
住 所	東京都足立区谷在家三丁目13番1号
電話番号	03-3853-0632

事業所番号	1312101940
管理者名	松井 雅晴
対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動内容：日常清掃委託 活動場所：足立福祉事務所西部福祉課・押皿谷住区センター 実施日程：月曜日～金曜日（祝日・夏期・年末年始休業等を除く） 実施概要：建物内外の日常清掃と美化活動 利用者数：3名</p>	<p><活動の様子></p>   
<p><目的></p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々が利用する公共施設で施設外就労を行う事で、社会性(社会ルール、挨拶、身だしなみ、コミュニケーション力等)を身に付ける。 ・近隣の公共施設の協力を得て、日常業務の中から仕事を切り出し、障がい者の働く場所を確保するとともに、社会参加の意識づけを行う。 <p>【地域のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃業務を担う事で、連携先の業務負担が軽減する。 ・清潔な状態を保つことで、連携先の職員とご利用者に健康的で気持ちよく過ごせる環境が提供できる。 <p>【対象者のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々を利用する施設の清掃に携わることで、地域貢献と障がい者理解に繋がる。 	
<p><成果></p> <p>地域社会で仕事をする中で「いつも綺麗にしてくれてありがとう」「頑張っているね」など地域の方々から声をかけてもらい、人の役に立つ喜びの経験を積み重ねたことで、自信と責任感を持って業務にあたる事が出来るようになってきた。今の仕事にやりがいを感じ充実しているためか、一般就労への意欲が低下してきている傾向にある。現状に満足せず、あらゆる選択肢の中から将来を決めていくことが出来るよう、一般就労を含め向上心を引き出せるようなカリキュラムを組んでいくことが</p>	

連携先の企業等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】			
<p>毎日、職員や施設利用者へのあいさつがしっかりとできており、気持ちよく接することができています。施設利用者により汚れが出やすいトイレなども毎日清掃できれいに保っていただき助かっています。</p> <p>長年の間継続して就労の受け入れを行っており、今後も地域連携による障がい福祉発展の一助になればと思います。</p>			
連携先企業名	足立福祉事務所西部福祉課・押皿谷住区センター	担当者名	谷口 進也

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	谷在家福祉作業所
住所	東京都足立区谷在家三丁目13番1号
電話番号	03-3853-0632

事業所番号	1312101940
管理者名	松井 雅晴
対象年度	令和4年度

(I) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		70	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上	○	40	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上			

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○	点
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計（注1）		5	点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(IV) 支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	点
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
②研修、学会等又は学会誌等において発表		○	点
1回の場合			
2回以上の場合			
③視察・実習の実施又は受け入れ		○	点
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
④販路拡大の商談会等への参加		○	点
1回の場合			
2回以上の場合			
⑤職員の人事評価制度		○	点
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置		○	点
ピアサポーターを職員として配置している			
◎ ⑦第三者評価		○	点
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している			
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○	点
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）		2	点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(V) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
---	---	----	---

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	70
生産活動	5点		20点		25点		40点		40
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		15
支援力向上	0点		15点		25点		35点		15
地域連携活動	0点				10点				10

合計	150	点	／ 200点
----	-----	---	--------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和2年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	9,928	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	1,653	人
			利用者の1日の平均労働時間数	6	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々年度（令和元年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	11,821,800	円	利用者に支払った資金総額	10,493,378	円
			収支	1,328,422	円
前年度（令和2年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	11,801,302	円	利用者に支払った資金総額	10,057,064	円
			収支	1,744,238	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（●年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律	
◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 ●名 ※取得を進めた免許等：○○○ 制度の活用内容：○○○		◎職員として登用した人数 0名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している ※登用した日 勤務形態： 就業時間： 職務内容：		◎在宅勤務を行った人数 ●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（在宅勤務）：●時●分～●時●分 職務内容：○○○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制を活用した人数 ●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（コアタイム）：●時●分～●時●分 職務内容：○○○		◎短時間勤務に従事した人数 0名 ※実施した期間： 就業時間（短時間）： 職務内容：		◎時差出勤制度を活用した人数 ●名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（早出の場合）：●時●分～●時●分 就業時間（遅出の場合）：●時●分～●時●分 職務内容：○○○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎時間単位取得を活用した人数 0名 ◎計画的付与制度を活用した人数 7名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 計画的付与制度 取得した期間：4月1日～3月20日 取得日数・時間 5日 35時間		◎傷病休暇等を取得した人数 0名 ※取得した内容： 取得した期間： 就業時間： 職務内容：			
(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載					
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（●年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している ◎研修実施回数 外部 ●回/内部 ●回 対象職員数 ●人 うち研修受講者数 ●人 ※研修名 ○○○ 研修講師 ○○○ 実施日・受講者数 ●月●日 ●人		◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 ●回 ※研修、学会等名 ○○○ 実施日 ●月●日 ※学会誌等名 ○○○ 掲載日 ●月●日 発表テーマ ○○○		◎先進的事業者の視察・実習の実施している ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている ※先進的事業者名 ○○○ 実施日/参加者数 ●月●日 ●人 ※他の事業所名 ○○○ 実施日/参加者数 ●月●日 ●人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
◎販路拡大の商談会等への参加回数 ●回 ※商談会等名 ○○○ 主催者名 ○○○ 日時 ●月●日 内容 ○○○		◎職員の人事評価制度を整備している ◎当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 ●年●月●日 人事評価制度の対象職員数 ●名 うち昇給・昇格を行った者 ●名 当該人事評価制度の周知方法 ○○○		◎ピアサポーターを配置している ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ※配置期間 ●月●日～●月●日 就業時間 職務内容 ○○○	
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ※評価を受けた日 12月23日 第三者評価機関 株式会社日本生活介護		◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ※認証を受けた日 ●月●日 規格等の内容 ○○○			
(※)実績のうち1事例を記載					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、